

令和4年度 下諏訪北小学校グランドデザイン

【下諏訪町基本理念】

「下諏訪力の創造」

小さくてもキラリと光る美しい町

【下諏訪町の教育目標】

- 家庭教育、幼児教育、学校教育、社会教育の連携と小中一貫教育
- 知・徳・体・食の調和のとれた学習の充実
- 心身共に健康で、豊かな人間性と社会性のある子どもの育成

「優しさと生きがいをもつづくり」「薫り高い文化のまちづくり」

【学校教育目標】 自ら考え 助け合って やり抜く子ども

○よく考えぬこう ○ともにのりこえよう ○すすんでやり抜こう ○命・ふるさとを大切にしよう

<建学の精神> 「さあ、やろう！」

【目指す子ども姿】

- 1 【よく考えぬこう】
主体的に学び、行動できる子ども
- 2 【ともにのりこえよう】
やさしく、たくましい子ども
- 3 【すすんでやり抜こう】
意欲的に取り組み、よりよくしていこうと追究する子ども
- 4 【命・ふるさとを大切にしよう】
身体を鍛え、命を大切に、ふるさとの自然・文化を受け継いでいく子ども

【学校長の願い(基本方針)】

変化の激しい時代を生きている子どもたちに、生涯にわたって生き抜く力をつけることが必要である。そのために、基礎・基本的な学力をきちんと身につけ、学習したことが実生活の中で運用・活用できる力を育むとともに、健やかな身体と豊かな心を育む。「ことば」を大切にして学び、友と関わり、知・徳・体がバランスよく育まれる学校を目指し、自尊感情を高めながら、地域に根ざし地域の人や文化を愛する子どもたちの育成を図る。

令和4年度の重点 「明日も来たくなる学校」

重点1：「対話で生み出す学び合いのある」授業づくり

重点2：思いやりのある温かな人間関係づくり

重点3：家庭・地域・幼保小中の連携を深め、友や故郷を愛する活動づくり

【重点1に向けて】

- ①子ども理解を大切に授業作り
全ての子どもが理解を深めることのできる授業づくりを工夫
- ②対話のある授業づくり
・「学習材との対話」「人との対話」「自己との対話」を深める指導
・授業の3観点「ねらい」「めりはり」「見とどけ」実践
・表現学習の実践（日々の話したり書いたりする場や学習発表会等）
・ペアやグループ学習における学び合いの場づくり
- ③授業交換(4学年以上、学年内で)
- ④家庭学習の充実
・授業につながる家庭学習
- ⑤生活・総合的な学習の時間の充実
・ねらいの明確化
・「問い」のある探究的な追究
・教科横断的な視点による教育課程の実践
- ⑥授業力向上に向けた研修
・全国学調査及びCDTの分析
・児童授業アンケート(目標8割)とそれらをいかした授業改善
・一人一公開授業と研究会
- ⑦英語教育の推進
・担任とELTとの連携
- ⑧体力向上プランの計画と実践
・「一校一運動」の取組
・スポーツテストの実施と分析
- ⑨読書教育の充実
・朝読書・調べ学習・家庭読書

【重点2に向けて】

- ①あいさつでつながる絆
学校・家庭・地域と連携した「あいさつ」運動(児童会、PTA)
- ②安心できる関係づくり
・聴き・認め合う学級づくり
・自尊感情を高める
・Q-U調査(楽しい学校生活を送るためのアンケート)の実施と活用(年2回)
- ③人権教育の充実
・思いやり旬間(11月)の実施
・3回のいじめ調査(6月、12月、2月)と教育相談の実施
・人権の花運動
- ④道徳教育の充実
・道徳科としての取り組みと自己や他者の肯定感を高める授業づくり
- ⑤福祉交流教育の充実
・花田養護学校、ハイム天白、グループホーム縁、保育園等や諸施設との交流の推進
- ⑥環境教育の推進
・アマゴの飼育
・花壇、学校菜園の活性化
・ガーデンプロジェクト
- ⑦配慮を要する児童への支援
・個別支援シートの活用
・情報の共有と支援体制の充実

【重点3に向けて】

- ①幼保小中の連携
・相互授業参観や研究会を通して、相互の繋がりを明確にした学習・生活指導の推進
(保育参観・保育研究会、小中合同研修会2回、6年生中学校生活体験3回等)
- ②地域・故郷体験学習の実施
木遣り練習、注連縄づくり、味噌作り、米作り、歴史名所見学
- ③「ノース下諏訪ネットワーク」との連携
・読み聞かせボランティア
・ふれあい講座ボランティア
・学習支援ボランティア
・寺子屋
・統計グラフボランティア
・緑化支援ボランティア
・荒汐部屋との交流
- ④「めざせ!!元気なしもすわっ子」の活用による家庭教育の推進
- ⑤地区行事への積極的な参加
・お舟祭り、宵祭り、三角八丁等への参加
- ⑥学校からの情報発信の充実
・学校だより、学年通信等
- ⑦保護者、地域の方の日常的な学校開放
・保護者アンケート等の実施と改善に向けた検討・実践